



フォーム設計 (NE) for LX-D5500

【航空貨物ラベル作成 for LX-D5500】

ユーザーズガイド

取扱説明書について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。必要に応じてご利用ください。

インストールガイド

ソフトウェアのインストール方法についての説明が記載されています。

ラベル発行 for LX-D5500 ユーザーズガイド

「ラベル発行 for LX-D5500」についての説明が記載されています。
ラベルの印刷のしかたについて知りたいときにお読みください。

フォーム設計 (NE) for LX-D5500 ユーザーズガイド (本書)

「フォーム設計 (NE) for LX-D5500」についての説明が記載されています。
オリジナルデザインのラベル (フォーム) の作成のしかたについて知りたいときにお読みください。

- 「インストールガイド」および「ラベル発行 for LX-D5500 ユーザーズガイド」は付属の「航空貨物ラベル作成 for LX-D5500」CD-ROM に収められています。

「インストールガイド」

E:¥Manual¥ 航空貨物ラベル作成_for_LX-D5500_インストールガイド.pdf

「ラベル発行 for LX-D5500 ユーザーズガイド」

E:¥Manual¥ ラベル発行_for_LX-D5500_UG.pdf

("E:"の部分はお使いのコンピューターのCD-ROMドライブ名を指定してください。)

- LX-D5500 プリンタードライバー、カラーラベルプリンター LX-D5500 についての詳細は、LX-D5500 のスタートガイドおよびユーザーズガイドをご覧ください。

記載について

- 本書では、Windows 7 をご使用の場合に表示される画面で説明しています。
- 本書では、Windows XP、Windows 7 および Windows 8 に関する説明は省略しています。Windows XP、Windows 7 および Windows 8 に関する操作については、それぞれの取扱説明書でご確認ください。
- 本書で使われている画面は実際と異なる場合があります。
- 本書では、次のようなマークを使用しています。



メモ

操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

略称について

- Microsoft Windows 8 日本語版を Windows 8 と表記しています。
- Microsoft Windows 7 日本語版を Windows 7 と表記しています。
- Microsoft Windows XP SP3 日本語版を Windows XP と表記しています。
- Microsoft Windows を Windows と表記しています。

お客様へのお願い

- 本書の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- 本ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 本ソフトウェアについて | 6 |
| お使いになる前に | 7 |
| 起動と終了 | 8 |
| 起動する | 8 |
| メイン画面の構成について | 9 |
| メイン画面 | 9 |
| ツールバー | 10 |
| 終了する | 11 |
| 本ソフトウェアの使いかた | 12 |
| [ファイル] メニュー | 12 |
| [新規作成] 新しいフォームを作成する | 12 |
| [開く] データを開く | 16 |
| [閉じる] ファイルを閉じる..... | 17 |
| [保存] 編集中のデータを上書き保存する | 17 |
| [名前を付けて保存] 編集中のデータを名前を付けて保存する | 18 |
| [設定] 用紙の設定を変更する | 19 |
| [印刷] 印刷する | 19 |
| [終了] 本ソフトウェアを終了する | 20 |
| [編集] メニュー | 21 |
| [元に戻す] 操作を取り消す | 21 |
| [コピー] オブジェクトをコピーする | 21 |
| [貼り付け] オブジェクトを貼り付ける | 22 |
| [前面へ] オブジェクトを前面へ移動する | 22 |
| [背面へ] オブジェクトを背面へ移動する | 24 |

| | |
|--|----|
| [左揃え] [右揃え] [中央揃え] [上揃え] [下揃え] オブジェクトを配置する | 26 |
| [すべてを選択] 全てのオブジェクトを選択する | 28 |
| [オブジェクト] メニュー | 29 |
| [選択] オブジェクトを選択する | 29 |
| [線] [水平線・垂直線] 直線を追加する | 30 |
| [矩形] 四角形を追加する | 32 |
| [楕円] 楕円を追加する | 34 |
| [イメージ] 画像を追加する | 36 |
| [バーコード] バーコードを追加する | 38 |
| [文字] 文字を追加する | 40 |
| [ロック] オブジェクトのサイズ変更・移動を禁止する / 禁止解除する | 42 |
| [全てのロックを解除] 全てのロックを解除する | 42 |
| [削除] オブジェクトを削除する | 42 |
| [表示] メニュー | 43 |
| [ツールバー] ツールバーを表示する / 非表示にする | 43 |
| [ステータスバー] ステータスバーを表示する / 非表示にする | 43 |
| [全体] [拡大] イメージを全体表示する / 拡大表示する | 43 |
| [グリッド表示] グリッドを表示する / 非表示にする | 44 |
| [グリッドに位置合わせする] オブジェクトをグリッド位置に合わせて配置する | 44 |
| [グリッド設定] グリッド単位を設定する | 44 |
| [ヘルプ] メニュー | 45 |
| [目次] オンラインヘルプを表示する | 45 |
| [トピックの検索] オンラインヘルプのトピック検索を表示する | 45 |
| [フォーム設計 (NE) バージョン情報] 本ソフトウェアのバージョンを調べる | 45 |
| 付録 | 46 |

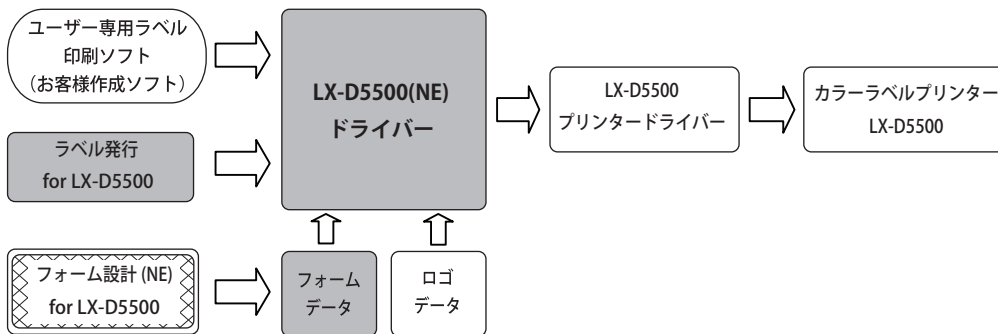
本ソフトウェアについて

「航空貨物ラベル作成 for LX-D5500」は、航空貨物に貼付けるラベルを作成し、キヤノンカラーラベルプリンター LX-D5500 で印刷するためのソフトウェアです。

「フォーム設計 (NE) for LX-D5500」は、航空貨物ラベル作成システムのうちの1つで、インストールしたフォームデータを使って、新しいフォームデータを作ります。

本書では、「フォーム設計 (NE) for LX-D5500」について説明します。

＜航空貨物ラベル作成 for LX-D5500 を使った全体システム＞



■ : 「航空貨物ラベル作成 for LX-D5500」 CD-ROM に収録されているソフトウェアおよびデータ

▨ : 本書で説明するソフトウェア

フォームデータ^{*1} :

航空貨物ラベルのレイアウトデザインデータです。「航空貨物ラベル作成 for LX-D5500」ではサンプルのフォームデータを用意していますので、印刷したいフォームデザインを使ってすぐに印刷することができます。また、本ソフトウェアを使うと、オリジナルのフォームデータを作ることができます。

ロゴデータ^{*1} :

航空会社などの識別表示用のロゴイメージデータです。

ラベル発行 for LX-D5500 :

本ソフトウェアで作成したフォームデータ上に、印刷するロゴ情報や航空運送状番号、仕向地などを入力して航空貨物ラベルデータを作り、印刷を実行します。

LX-D5500(NE) ドライバー :

「ラベル発行 for LX-D5500」で入力したラベルデータからフォームデータとロゴデータを組合わせてラベルイメージ（航空貨物ラベルデータ）を作成する航空貨物ラベル専用のプリンタードライバーです。

LX-D5500 プリンタードライバー :

上記 LX-D5500(NE) ドライバーが処理したラベルイメージをカラーラベルプリンター LX-D5500 で印刷できるように処理します。

LX-D5500 プリンター :

LX-D5500 プリンタードライバーが処理したデータを受信し印刷します。

^{*1} ラベル発行業務に必要なフォームデータおよびロゴデータは、ラベルプリンター導入時に別途提供される CD に収められています。

- 本ソフトウェアをご利用になり、お客様にてラベル印刷システムを開発される場合は、ご購入いただきました営業までお問い合わせください。お客様のご要望に合わせて、サポートいたします。

お使いになる前に

本ソフトウェアをお使いになる前に、次のことを確認してください。

- 「LX-D5500 プリンタードライバー」 および 「LX-D5500(NE) ドライバー」 がインストールされている

プリンタードライバーは、「LX-D5500 プリンタードライバー」 および 「LX-D5500(NE) ドライバー」 の2つのインストールが必要です。

どちらか一方のみのインストールの場合、本ソフトウェアは正しく動作しません。

起動と終了

本ソフトウェアの起動と終了、およびメイン画面の構成について説明します。

起動する

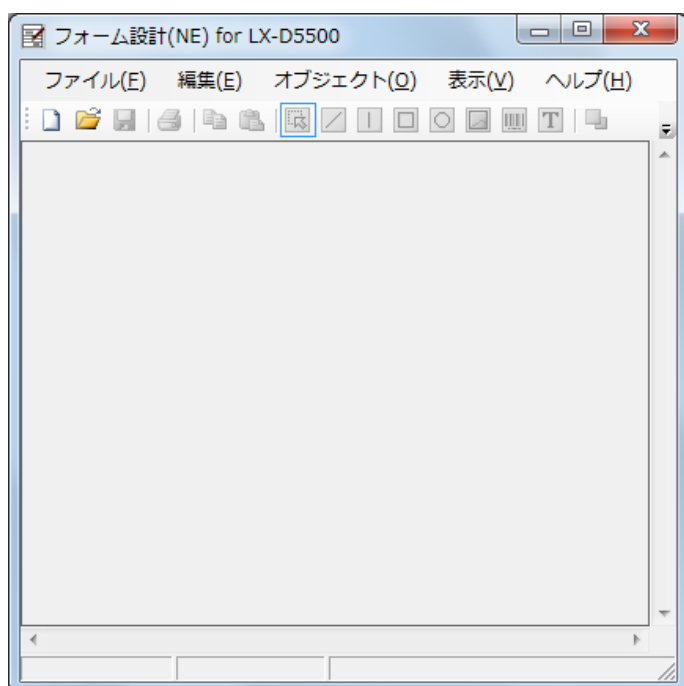
本ソフトウェアを起動します。

- 1 Windows の [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] - [航空貨物ラベル作成 for LX-D5500] - [フォーム設計 (NE) for LX-D5500] を選択します。

• Windows 8 のとき

- ① Windows 画面の左下隅で右クリックし、[検索] を選択します。
プログラムの一覧 (アプリ) が表示されます。
- ② [フォーム設計 (NE) for LX-D5500] のアイコンをクリックします。

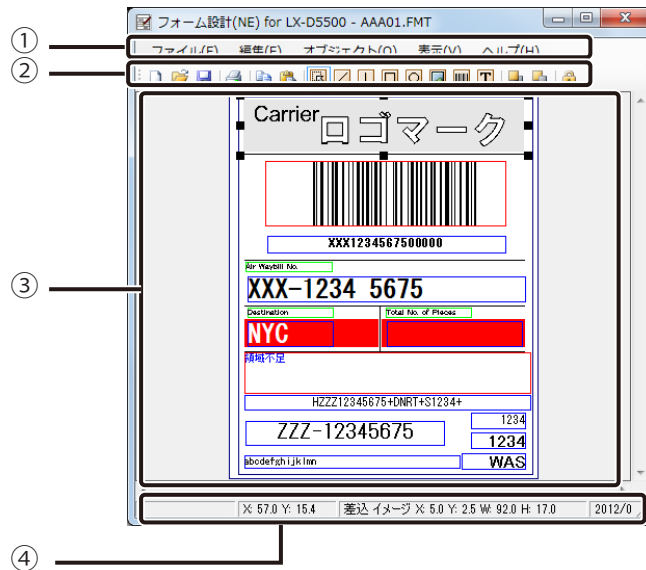
本ソフトウェアが起動します。



メイン画面の構成について

メイン画面は次のように構成されています。

■ メイン画面



① メニューバー

本ソフトウェアの機能を表示しています。
メニューをクリックすると、サブメニューがドロップダウン表示されます。

② ツールバー

印刷や保存など、よく使うメニューをボタンとして表示しています。
⇒「[ツールバー \(P.10\)](#)」

③ デザインウィンドウ















作成されたフォームが印刷イメージで表示されます。また、編集の補助機能としてグリッドを表示することができます。

④ ステータスバー

現在のマウスの位置や現在選ばれているオブジェクトの種類、サイズなどを表示します。

■ ツールバー



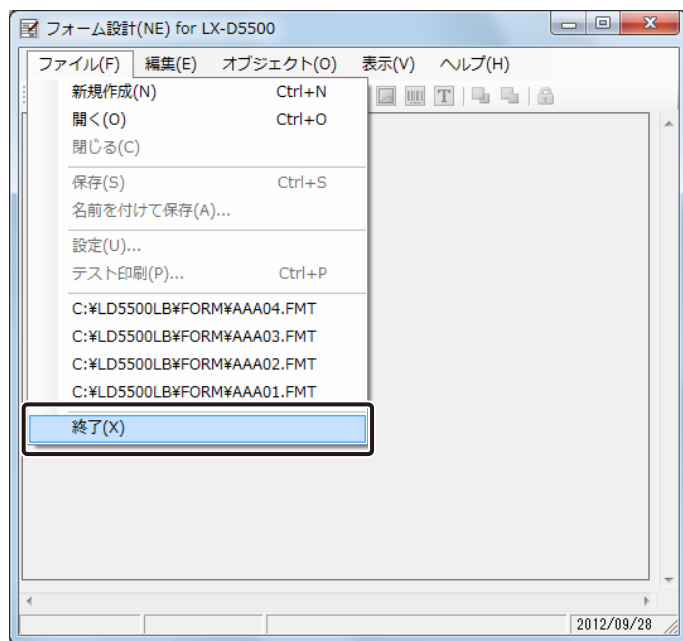
| | | |
|---|-------------|---|
|  | 新規作成 | 新規にファイルを作成します。 |
|  | 開く | 既存のファイルを開きます。 |
|  | 保存 | 作業中のデザインウィンドウを、現在設定されているファイル名、フォルダーに保存します。新規作成時は、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが開きます。 |
|  | 印刷 | 現在開いているデータを印刷します。 |
|  | コピー / 貼り付け | 現在選択されているオブジェクトに対してコピー、貼り付けをします。 |
|  | 矩形 / 楕円 | 矩形 / 楕円オブジェクトを作成します。 |
|  | オブジェクト選択 | オブジェクトの選択、移動およびサイズの変更を行います。 |
|  | 線 | 線オブジェクトを作成します。 |
|  | 水平線・垂直線 | 水平線または垂直線オブジェクトを作成します。 |
|  | イメージ | イメージオブジェクトを作成します。 |
|  | バーコード | バーコードオブジェクトを作成します。 |
|  | 文字 | 文字オブジェクトを作成します。 |
|  | 前面へ / 背面へ | オブジェクトの重なり順番を変更します。 |
|  | ロック / ロック解除 | 選択中のオブジェクトをロック、ロック解除します。ロックされたオブジェクトは位置とサイズの変更ができなくなります。 |

終了する

本ソフトウェアを終了します。

1 [ファイル] メニューから [終了] をクリックします。

または、Windows タイトルバーにある  (終了ボタン) をクリックします。



本ソフトウェアが終了します。

本ソフトウェアの使いかた

本ソフトウェアの使いかたを説明します。



メモ

- 本ソフトウェアと同じ設定項目が LX-D5500 プリンタードライバーの印刷設定にもある場合、印刷は本ソフトウェアでの設定内容が優先されます。ただし実際の印刷では、「ラベル発行 for LX-D5500」など他のソフトウェアの設定によって異なる場合があります。

例えば、本ソフトウェアで [ファイル] メニューから [新規作成] をクリックして表示される [設定] ダイアログボックスの [用紙]、[カッター]、[向き]、[オーバーレイ・モード] などの設定は、LX-D5500 プリンタードライバーの印刷設定にもありますが、本ソフトウェアで作成したフォームデータの設定が印刷に反映されます。

[ファイル] メニュー

[ファイル] メニューの機能について説明します。

■ [新規作成] 新しいフォームを作成する

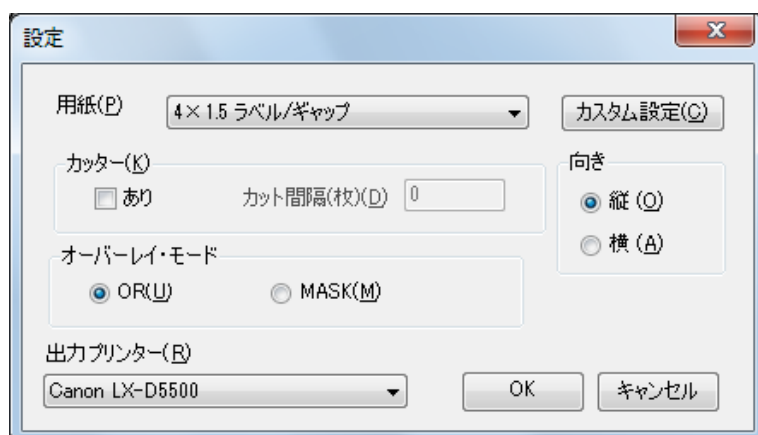
新しいフォームを作成します。

1 ツールバー  (新規作成) をクリックします。

または [ファイル] メニューから [新規作成] をクリックします。

[設定] ダイアログボックスが表示されます。

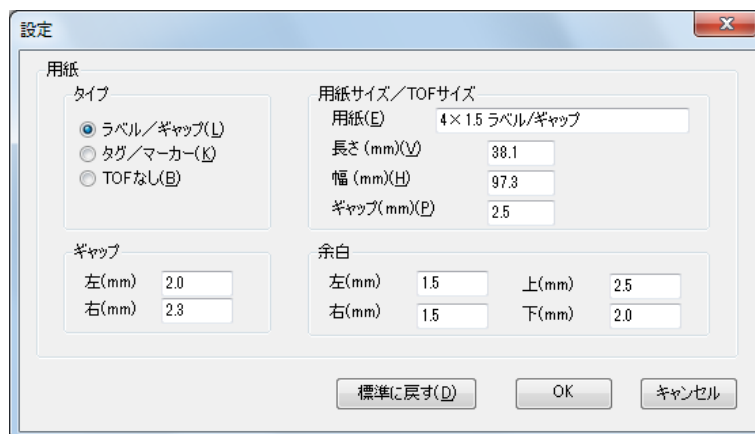
2 作成するデータに合わせて用紙を選択します。



- [用紙] : ラベル用紙を選択します。次の用紙サイズがあらかじめ登録されています。
 4 × 1.5 ラベル/ギャップ 4 × 3 ラベル/ギャップ 4 × 5 ラベル/ギャップ
 4 × 8 ラベル/ギャップ
 2 × 1.5 ラベル/ギャップ 2 × 3 ラベル/ギャップ 2 × 8 ラベル/ギャップ
 ユーザー定義
 ※[タグ/マーカ] または [TOF なし] を選択するときは、[カスタム設定]
 をクリックして用紙のタイプを切り替えます。
- [カスタム設定] : [用紙] で選んだ用紙についてさらに細かく設定することができます。
 クリックすると、[設定] ダイアログボックスが開きます。
 ⇒ [カスタム設定の \[設定\] ダイアログボックスについて \(P.14\)](#)
- [カッター] : カッターの有無を指定します。「あり」にした場合、枚数単位でカット間隔の指定も行えます。ただし実際の印刷では、「ラベル発行 for LX-D5500」など他のソフトウェアの設定によって異なります。
- [向き] : 用紙の向きを [縦]、[横] のいずれかに指定します。
- [オーバーレイ・モード] : オーバーレイ・モードを [OR] または [MASK] のいずれかから選びます。
 [OR] は固定データと差込データの重なる部分も印刷し、[MASK] は固定データの重なる部分は印刷されません。ただし、「ラベル発行 for LX-D5500」など他のソフトウェアをお使いの場合、[MASK] 処理で印刷されます。
- [出力プリンター] : ファイル保存、テスト印刷で使用するプリンターを選択します。

 メモ

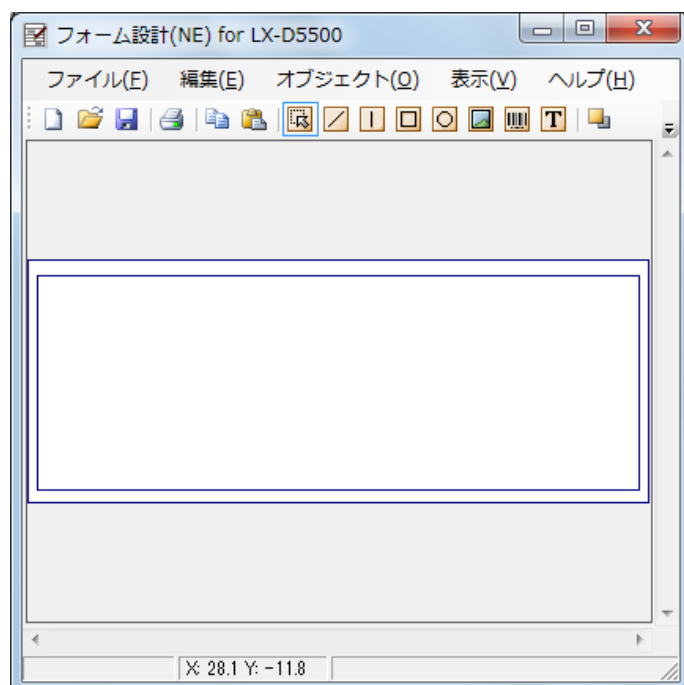
- カスタム設定の [設定] ダイアログボックスについて
各項目を設定したら、[OK] をクリックします。



- [タイプ] : [ラベル/ギャップ]、[タグ/マーカ-]、[TOFなし] の3種類があります。
- ラベル/ギャップ : 通常のラベル用紙です。ラベル間のギャップを感知して用紙の先端を確認します。
- タグ/マーカ- : タグ用紙の裏側に TOF マークが印刷してあるタイプです。
- TOFなし : TOF マークが印刷してないタイプです。
- [用紙サイズ /TOF サイズ] : プリンターで使用する用紙を選択します。用紙で指定されたラベルの用紙のサイズ [長さ (mm)]、[幅 (mm)] および [ギャップ (mm)] を入力します。
- [ギャップ] : 左右のギャップを mm 単位で指定します。
- [余白] : 用紙の上下左右の余白を mm 単位で指定します。
- [標準に戻す] : 指定した変更を初期値 (何も設定していない状態) に戻します。

3 [OK] をクリックします。

デザインウィンドウに新規フォームイメージが表示されます。



■ [開く] データを開く

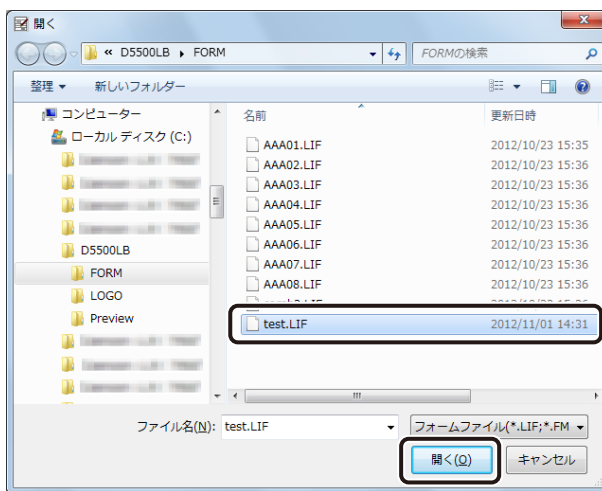
保存されているデータを開きます。

1 ツールバー  (開く) をクリックします。

または [ファイル] メニューの [開く] をクリックします。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

2 ファイルを選択して [開く] をクリックします。



ファイルが開きます。

メモ

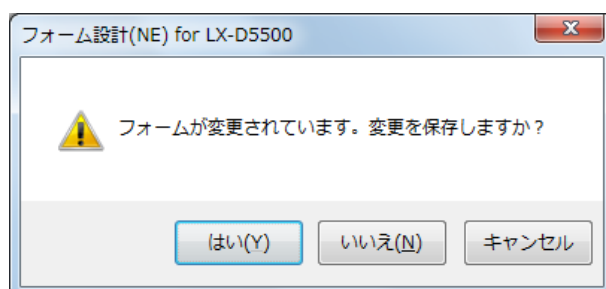
- 本ソフトウェアで開けるファイル形式はフォームファイル (*.LIF*、.FMT) です。
 - ・「フォーム設計 (NE) for LX-D5500」で作成したファイル (*.LIF)
 - ・「フォーム設計 (NE) (LX 760 用)」で作成したファイル (*.FMT)

■ [閉じる] ファイルを閉じる

現在表示されているファイルを閉じます。

1 [ファイル] メニューから [閉じる] をクリックします。

デザインウィンドウに表示したファイルや作成中のファイルが閉じます。
次の場合は、保存を確認するメッセージが表示されます。



- 作成中の保存していないデータがあるとき
保存する場合は [はい] をクリックします。[いいえ] をクリックすると、保存しないでデータを閉じます。
- 新規にフォームを作成したとき
[はい] をクリックすると [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。データに名前を付けて保存してください。
⇒ 「[名前を付けて保存] 編集中的数据を名前を付けて保存する (P.18)」
[いいえ] をクリックすると、保存しないでデータを閉じます。

■ [保存] 編集中的数据を上書き保存する

編集中的数据を現在のファイルに上書き保存します。

1 ツールバー (保存) をクリックします。

または [ファイル] メニューの [保存] をクリックします。

メモ

- 新しいデータを保存するときは、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。次の「[名前を付けて保存] 編集中的数据を名前を付けて保存する (P.18)」をご覧ください。
- プリンタードライバーが「オフライン」や「一時停止」の状態であるときは保存できません。

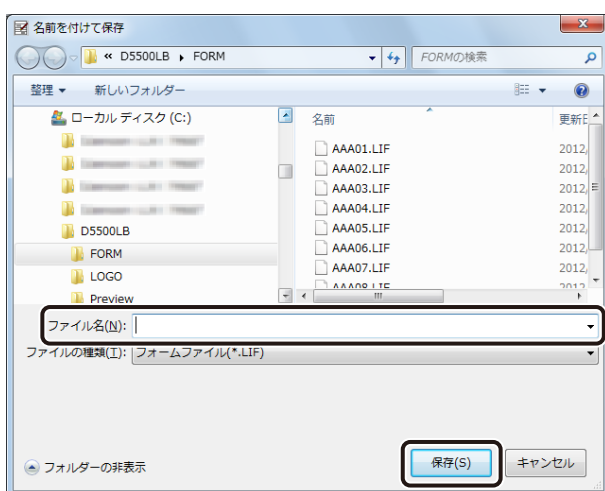
■ [名前を付けて保存] 編集中的数据を名前を付けて保存する

編集中的数据を新規に名前を付けて保存します。

1 [ファイル] メニューから [名前を付けて保存] をクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

2 [ファイル名] に新規のファイル名を半角英数 5 文字（拡張子は除く）で入力し、[保存] をクリックします。



メモ

- ファイルを保存すると、「XXXXX.LIF」「XXXXX.IDF」「XXXXX.OFE」の3つのファイルが作成されます。（XXXXXは任意に付けるファイル名）
ファイルを開くときは「XXXXX.LIF」ファイルを使いますが、3つのファイルがそろっていないと正しく印刷できなくなりますので（3つのファイルで1セット）、セットごとにファイルのコピーやバックアップなど管理してください。
- ファイル名は必ず半角英数 5 文字（拡張子は除く）で付けてください。
- プリンタードライバーが「オフライン」や「一時停止」の状態であるときは保存できません。

■ [設定] 用紙の設定を変更する

用紙の設定を変更します。

1 [ファイル] メニューから [設定] をクリックします。

[設定] ダイアログボックスが表示されます。

2 用紙の設定を変更します。

⇒ 「[新規作成] 新しいフォームを作成する (P.12)」

3 [OK] をクリックします。



メモ

- 用紙の設定は編集中（後）でも変更することができますが、作成したデザインの各オブジェクトの配置レイアウトは、元の用紙設定に沿った形のままで変更されません。編集を始める前に用紙の仕様を確定することをお勧めします。

■ [印刷] 印刷する

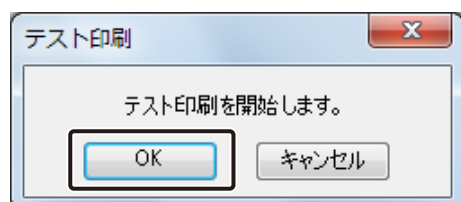
印刷を実行します。

1 ツールバー  (印刷) をクリックします。

または [ファイル] メニューの [テスト印刷] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

2 [OK] をクリックします。



印刷が始まります。

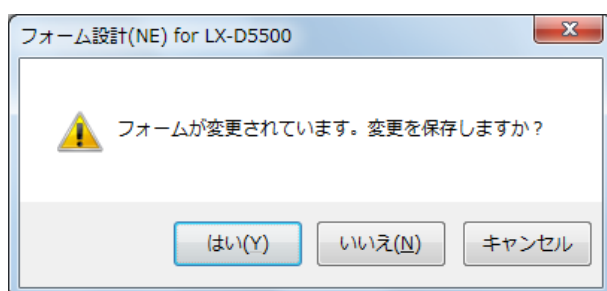
■ [終了] 本ソフトウェアを終了する

本ソフトウェアを終了します。

1 [ファイル] メニューから [終了] をクリックします。

または、Windows タイトルバーにある  (終了ボタン) をクリックします。
本ソフトウェアが終了します。

次の場合は、保存を確認するメッセージが表示されます。



- 作成中の保存していないデータがあるとき
保存する場合は [はい] をクリックします。[いいえ] をクリックすると、保存しないでデータを閉じます。
- 新規にフォームを作成したとき
[はい] をクリックすると [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。データに名前を付けて保存してください。
⇒ 「[名前を付けて保存] 編集中のデータを名前を付けて保存する (P.18)」
[いいえ] をクリックすると、保存しないでデータを閉じます。

[編集] メニュー

[編集] メニューの機能について説明します。

■ [元に戻す] 操作を取り消す

直前に実行した操作を取り消します。

1 [編集] メニューから [元に戻す] を選択します。

1つ前に行った操作が元に戻ります。

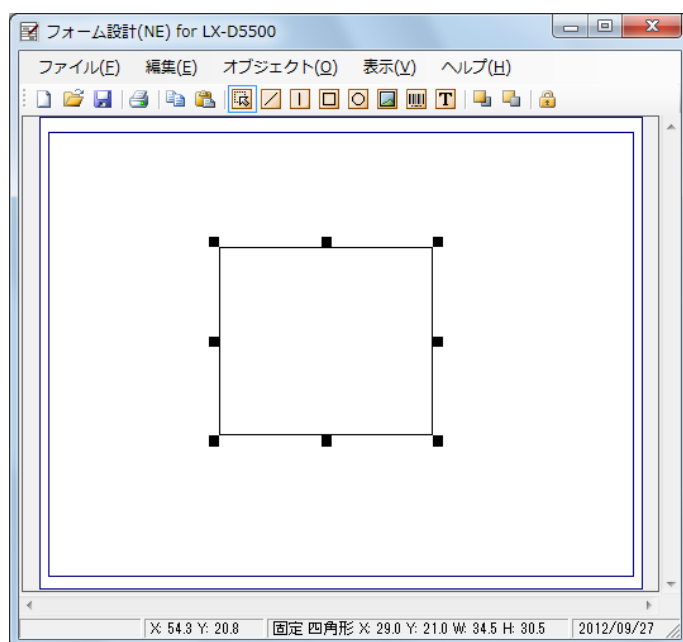
■ [コピー] オブジェクトをコピーする


オブジェクトをコピーします。

1 ツールバー (選択) をクリックします。

または、[オブジェクト] メニューの [選択] をクリックします。

2 デザインウィンドウのコピーしたいオブジェクトを選択します。




3 ツールバー  (コピー) をクリックします。

または、[編集] メニューから [コピー] をクリックします。

選択したオブジェクトがコピーされ、ソフトウェア内部で保持した状態になります。

■ [貼り付け] オブジェクトを貼り付ける

コピーしたオブジェクトを貼り付けます。


1 ツールバー  (貼り付け) をクリックします。

または、[編集] メニューから [貼り付け] をクリックします。

[コピー] 操作でコピーしたオブジェクトがデザインウィンドウ上に貼り付けられます。

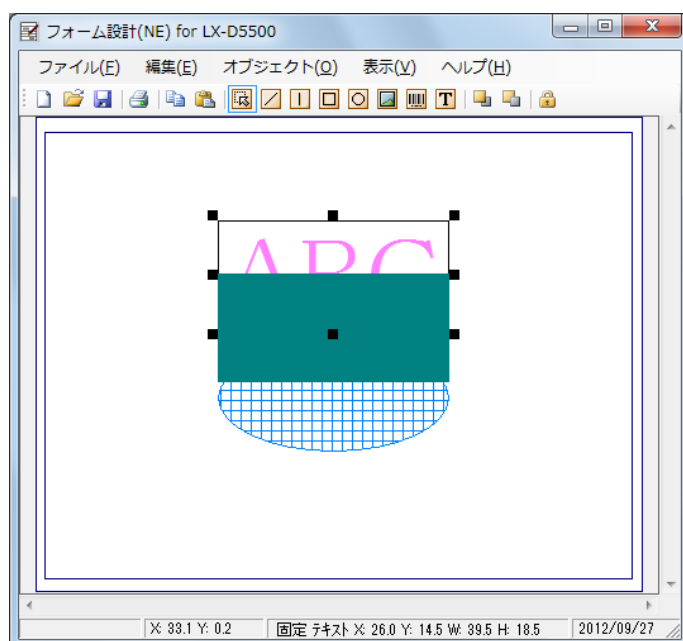
■ [前面へ] オブジェクトを前面へ移動する


複数のオブジェクトが重なりあっているとき、選択したオブジェクトを最前面へ異動します。

1 ツールバー  (選択) をクリックします。

または、[オブジェクト] メニューの [選択] をクリックします。

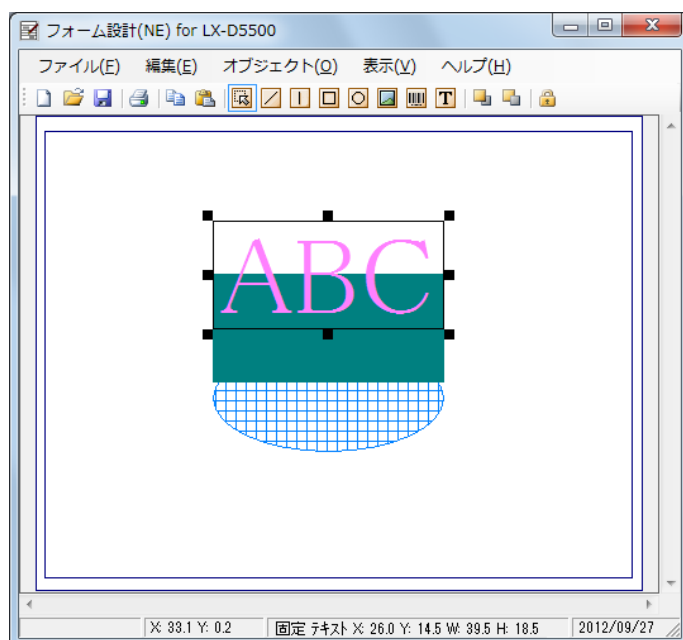
2 最前面に移動したいオブジェクトをクリックします。



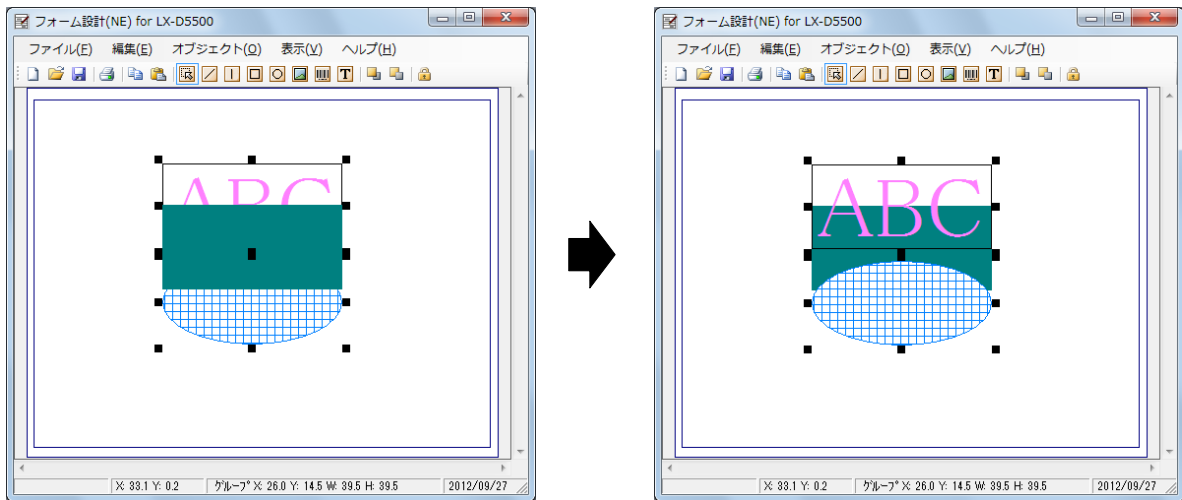
3 ツールバー  (前面へ) をクリックします。

または、[編集] メニューから [前面へ] をクリックします。

選択されているオブジェクトが最前面へ移動します。



複数のオブジェクトを選択したときは、選択したすべてのオブジェクトが最前面へ移動します。



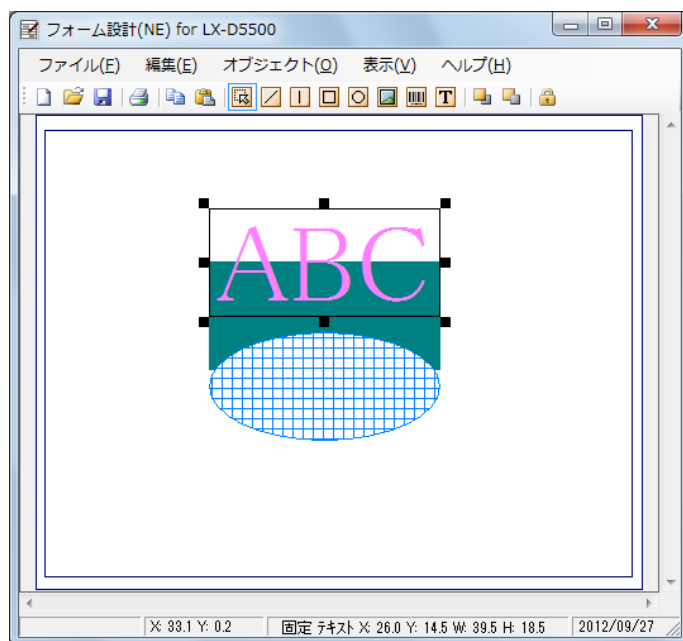
■ [背面へ] オブジェクトを背面へ移動する


複数のオブジェクトが重なりあっているとき、選択したオブジェクトを最背面へ移動します。

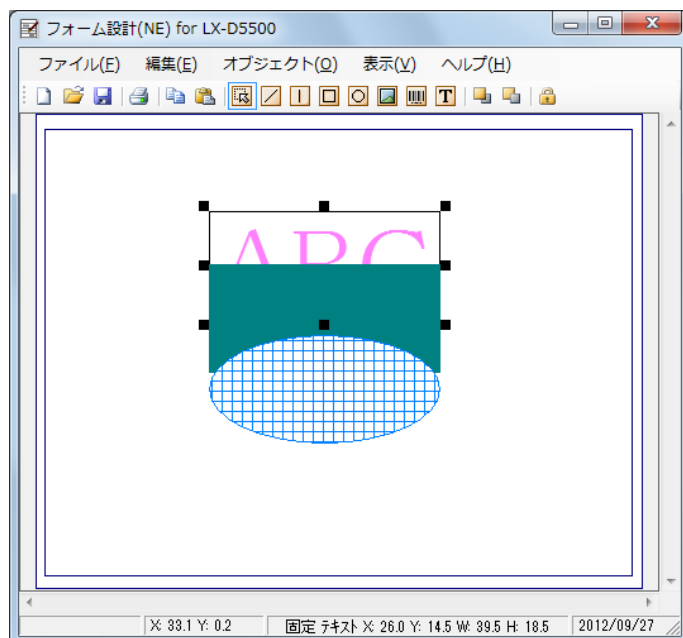
1 ツールバー  (選択) をクリックします。

または、[オブジェクト] メニューの [選択] をクリックします。

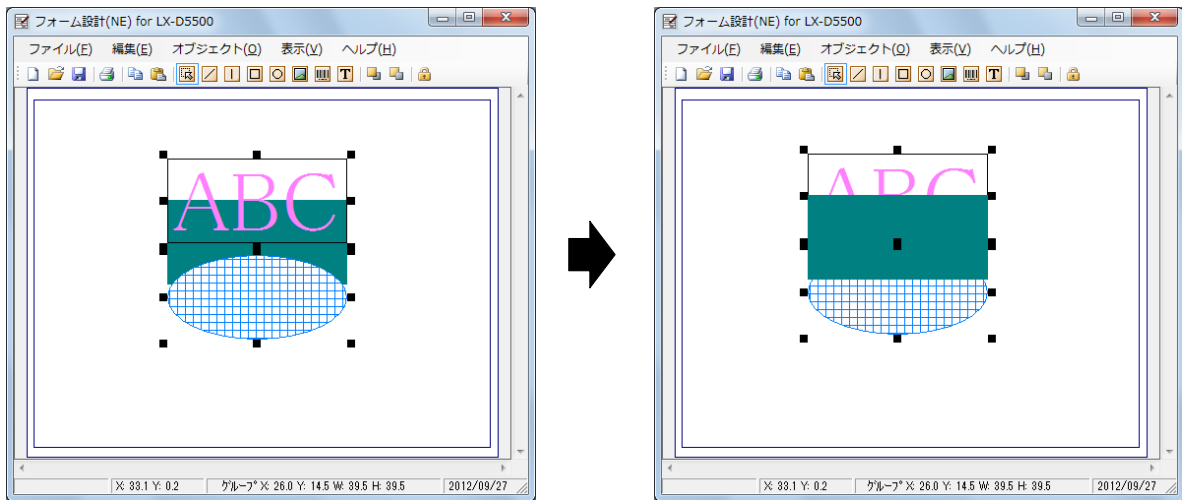
2 最背面に移動したいオブジェクトをクリックします。



3 ツールバー  (背面へ) をクリックします。
または、[編集] メニューから [背面へ] をクリックします。




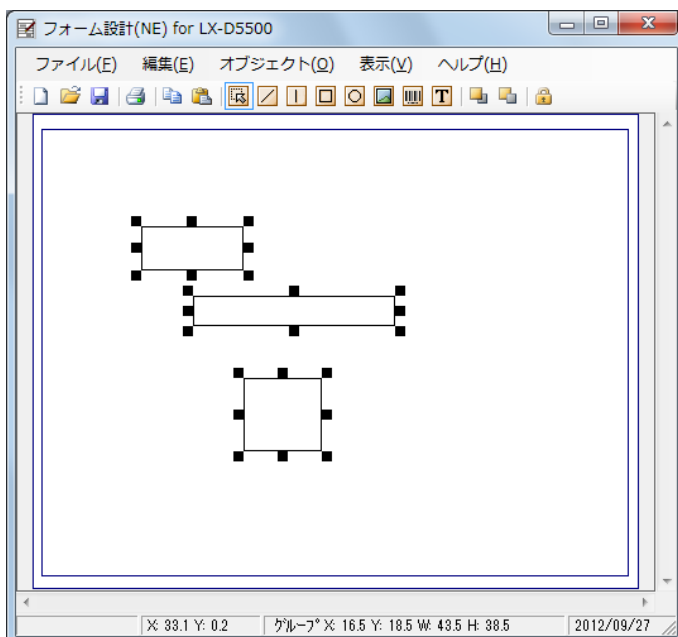
複数のオブジェクトを選択したときは、選択したすべてのオブジェクトが最背面へ移動します。



■ [左揃え] [右揃え] [中央揃え] [上揃え] [下揃え] オブジェクトを配置する

選択したオブジェクトをそれぞれ配置します。

- 1 ツールバー  (選択) をクリックします。
または、[オブジェクト] メニューの [選択] をクリックします。
- 2 配置したいオブジェクトをクリックします。

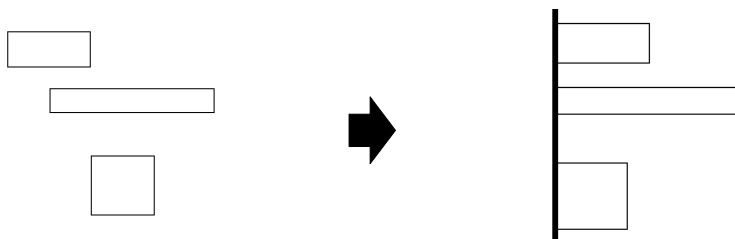


3 [編集]メニューから [左揃え] / [右揃え] / [中央揃え] / [上揃え] / [下揃え] を選びます。

配置のしかたを選択すると、オブジェクトは次のように配列されます。

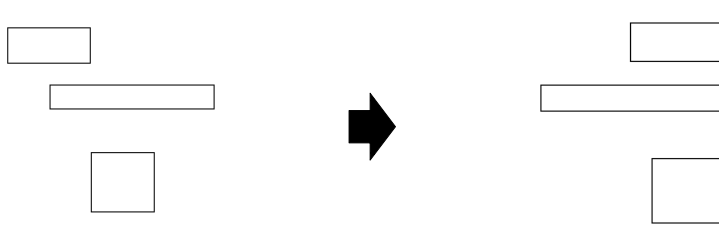
[左揃え]

選択しているオブジェクトの一番左のオブジェクトに合わせて揃えます。



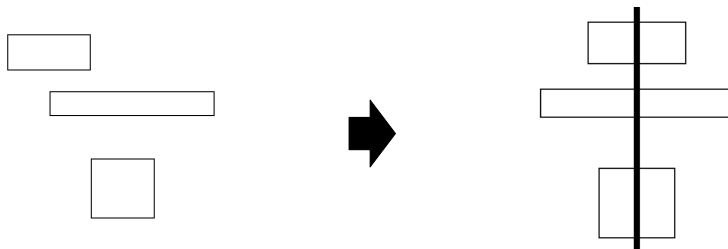
[右揃え]

選択しているオブジェクトの一番右のオブジェクトに合わせて揃えます。



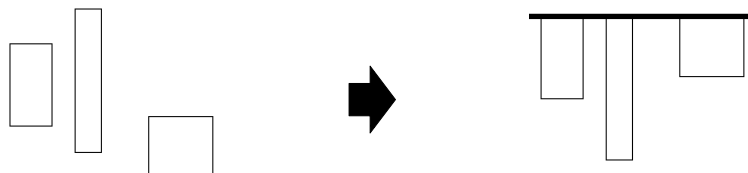
[中央揃え]

選択しているオブジェクトの左右方向に対して中心になる位置で揃えます。



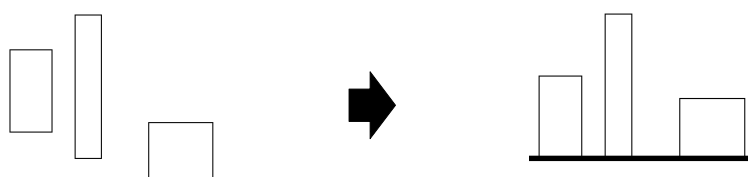
[上揃え]

選択しているオブジェクトの一番上のオブジェクトに合わせて揃えます。



[下揃え]

選択しているオブジェクトの一番下のオブジェクトに合わせて揃えます。



■ [すべてを選択] すべてのオブジェクトを選択する

デザインウィンドウに表示されているすべてのオブジェクトを選択します。

1 [編集] メニューの [すべてを選択] をクリックします。


デザインウィンドウに表示されているオブジェクトがすべて選択されます。

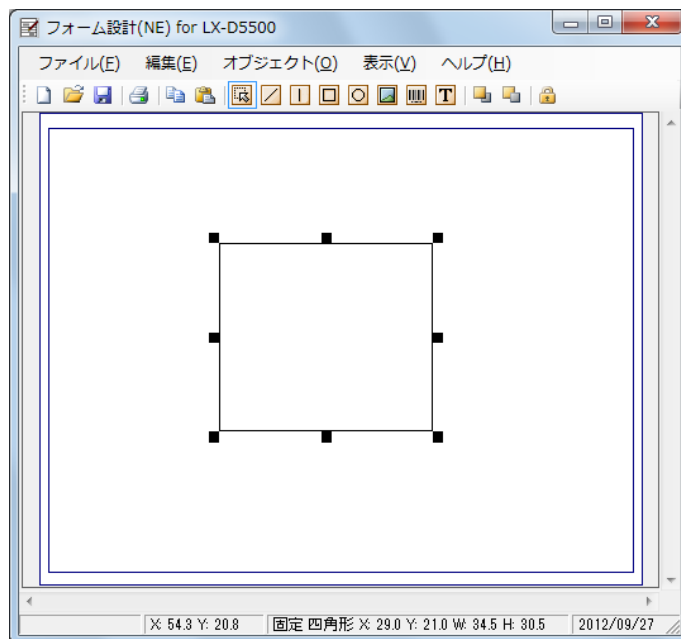
[オブジェクト] メニュー

[オブジェクト] メニューの機能について説明します。

■ [選択] オブジェクトを選択する

デザインウィンドウに表示されているオブジェクトを選択します。

- 1 ツールバー  (選択) をクリックします。
または、[オブジェクト] メニューの [選択] をクリックします。
- 2 選択したいオブジェクトをクリックします。



オブジェクトが選択されます。



メモ

- 複数のオブジェクトを選択したいときは、[CTRL] キーを押しながらクリックします。

■ [線] [水平線・垂直線] 直線を追加する

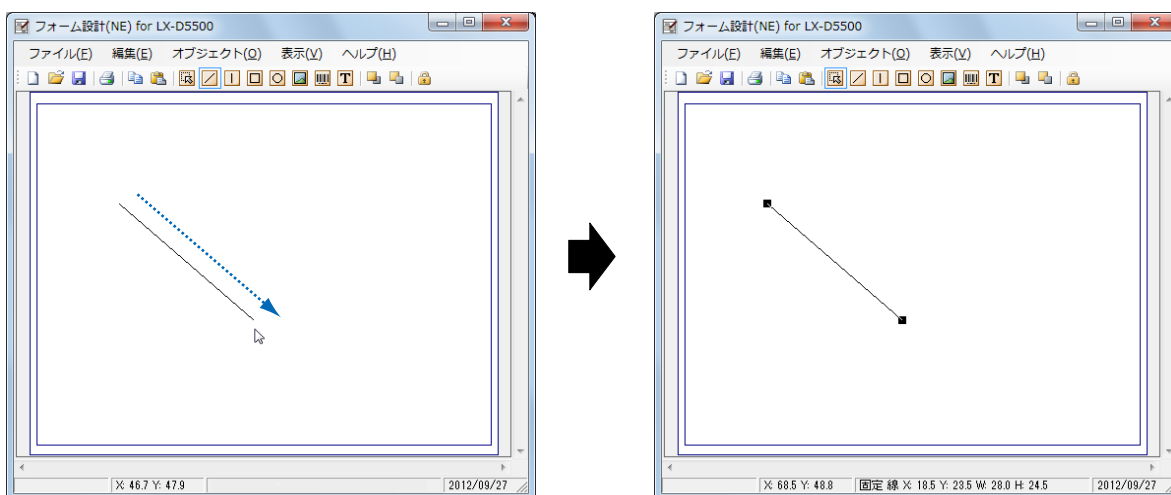
線オブジェクトを作成します。

用紙に対して垂直または水平な直線を引くときは、[水平線・垂直線] を使います。

- 1 ツールバー  (線)、または  (水平線・垂直線) をクリックします。
または、[オブジェクト] メニューの [線]、または [水平線・垂直線] をクリックします。

- 2 デザインウィンドウのフォーム上で、直線の始点としたいところでマウスの左ボタンを押し、そのままドラッグして、終点でボタンを離します。

(線オブジェクトのとき)

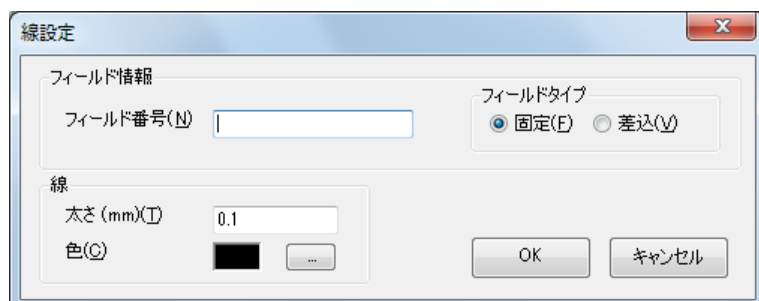



メモ

- 線オブジェクトのサイズを変更したいときは、線オブジェクトをクリックし、端点をドラッグして変更したいサイズのところで離します。

3 作成した線オブジェクトの線の太さや色を設定したいときは、オブジェクトを選択してダブルクリックします。

[線設定] ダイアログボックスが表示されます。




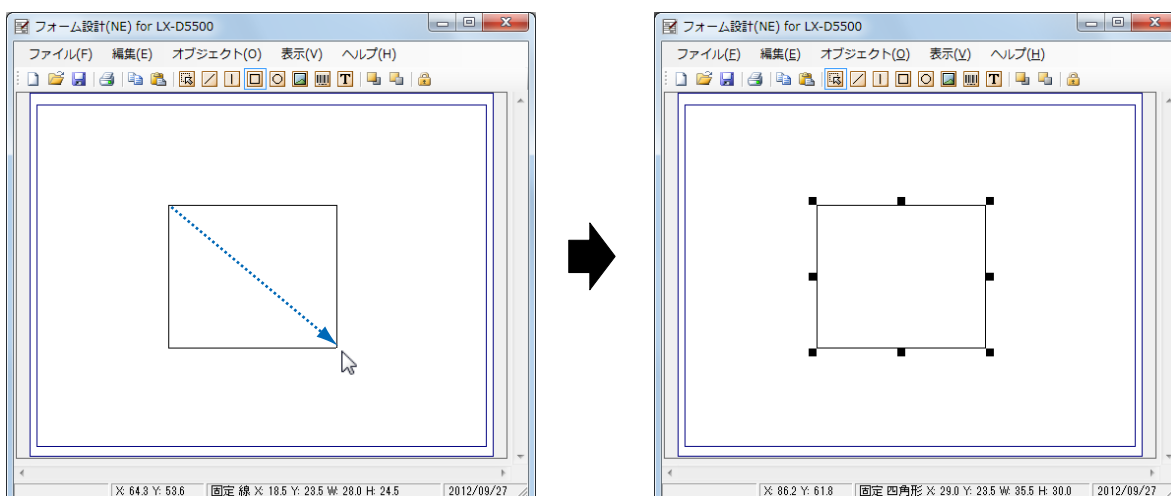
- [フィールド番号]： フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。
「ラベル発行 for LX-D5500」で使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。
- [フィールドタイプ]： 「ラベル発行 for LX-D5500」で入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。
- [太さ (mm)]： 選択した線オブジェクトの太さを 0.1mm 単位で設定します。
- [色]： 選択した線オブジェクトの色を設定できます。
 をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示され、独自の色を作成して追加することができます。

4 各項目を設定したら、[OK] をクリックします。

■ [矩形] 四角形を追加する

矩形オブジェクトを作成します。

- 1 ツールバー  (矩形) をクリックします。
または、[オブジェクト] メニューから [矩形] をクリックします。
- 2 デザインウィンドウのフォーム上で、始点としたいところでマウスの左ボタンを押し、そのままドラッグして、終点でボタンを離します。

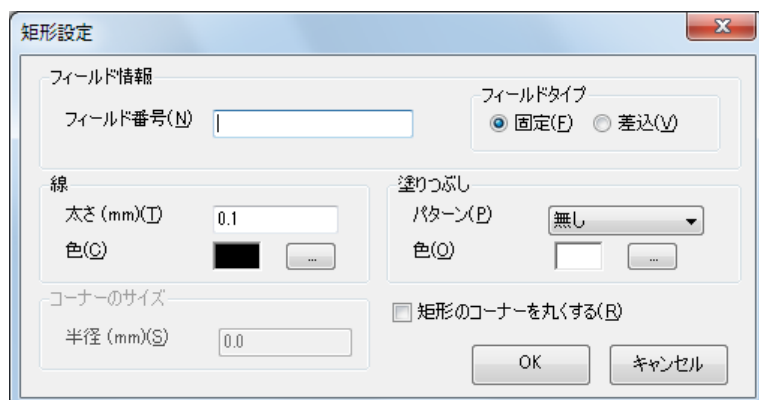


メモ

- 矩形オブジェクトのサイズを変更したいときは、矩形オブジェクトをクリックし、頂点または辺上の点をドラッグして変更したいサイズのところで離します。
- 塗りつぶし設定した図形オブジェクトの上に、それよりも小さい図形オブジェクトを配置した場合、下の大きい図形を選択すると上のオブジェクトを選択することができません。
下のオブジェクトの選択をいったん解除してから上のオブジェクトを選択してください。

3 作成した矩形オブジェクトの線の太さや色、塗りつぶしなどを設定したいときは、オブジェクトを選択してダブルクリックします。

[矩形設定] ダイアログボックスが表示されます。




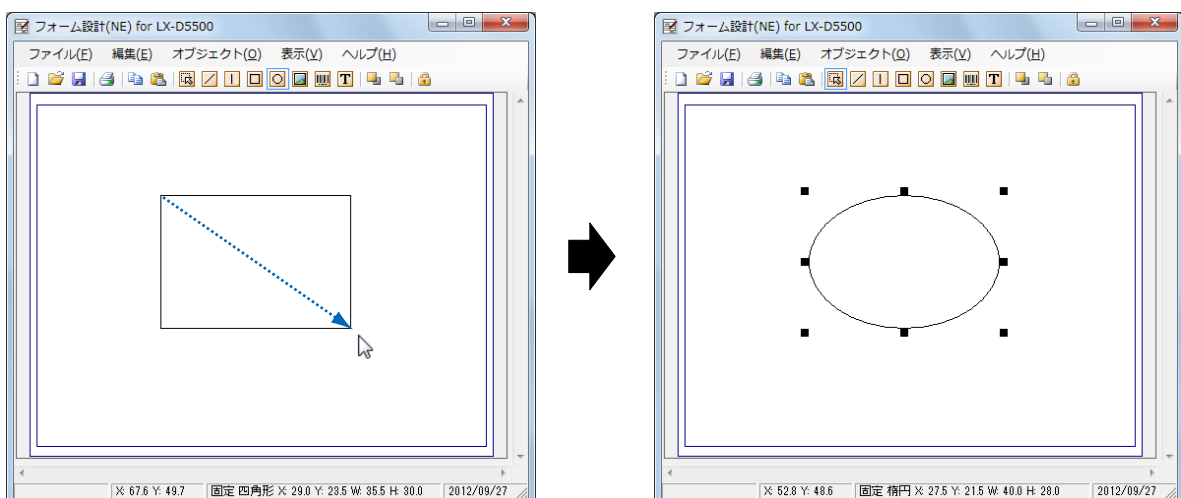
- [フィールド番号]： フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。「ラベル発行 for LX-D5500」で使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。
- [フィールドタイプ]： 「ラベル発行 for LX-D5500」で入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。
- [太さ (mm)]： 選択した矩形オブジェクトの線の太さを 0.1mm 単位で設定します。
- [色]： 選択した矩形オブジェクトの線の色を設定できます。 をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示され、独自の色を作成して追加することができます。
- [パターン]： 矩形内部の塗りつぶしパターンを「無し」、「塗りつぶし」、「横線」、「縦線」、「斜め線 (右下がり)」、「斜め線 (左下がり)」、「垂直格子」、「斜め格子」から選択できます。初期値は「無し」です。
- [色]： 矩形内部の塗りつぶしパターンの色を設定できます。 をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示され、独自の色を作成して追加することができます。
- [半径 (mm)]： [矩形のコーナーを丸くする] にチェックマークを入れると、コーナーの半径を 0.1mm 単位で設定できます。
- [矩形のコーナーを丸くする]： チェックマークを入れると、矩形の角が丸くなります。塗りつぶしの [パターン] が「無し」の場合のみ、設定できます。

4 各項目を設定したら、[OK] をクリックします。

■ [楕円] 楕円を追加する

楕円オブジェクトを作成します。

- 1 ツールバー  (楕円) をクリックします。
または、[オブジェクト] メニューから [楕円] をクリックします。
- 2 デザインウィンドウのフォーム上で、始点としたいところでマウスの左ボタンを押し、そのままドラッグして、終点でボタンを離します。

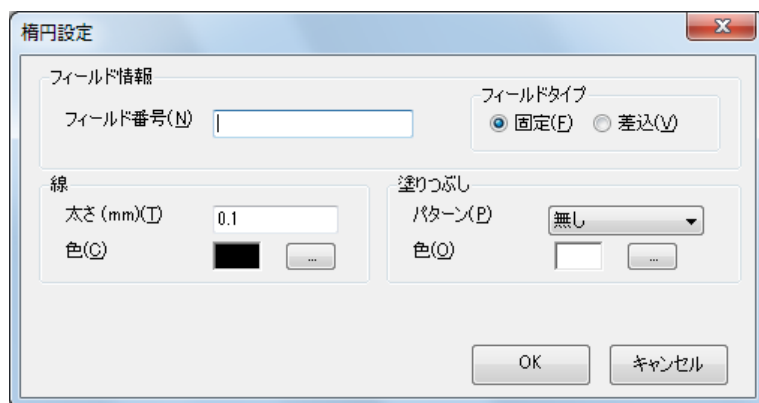


メモ

- 楕円オブジェクトのサイズを変更したいときは、楕円オブジェクトをクリックし、楕円を囲む枠の点をドラッグして変更したいサイズのところで離します。
- 塗りつぶし設定した図形オブジェクトの上に、それよりも小さい図形オブジェクトを配置した場合、下の大きい図形を選択すると上のオブジェクトを選択することができません。
下のオブジェクトの選択をいったん解除してから上のオブジェクトを選択してください。

3 作成した楕円オブジェクトの線の太さや色、塗りつぶしなどを設定したいときは、オブジェクトを選択してダブルクリックします。

[楕円設定] ダイアログボックスが表示されます。



- [フィールド番号]： フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。「ラベル発行 for LX-D5500」で使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。
- [フィールドタイプ]： 「ラベル発行 for LX-D5500」で入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。
- [太さ (mm)]： 選択した楕円オブジェクトの線の太さを 0.1mm 単位で設定します。
- [色]： 選択した楕円オブジェクトの線の色を設定できます。[...] をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示され、独自の色を作成して追加することができます。
- [パターン]： 楕円内部の塗りつぶしパターンを「無し」、「塗りつぶし」、「横線」、「縦線」、「斜め線 (右下がり)」、「斜め線 (左下がり)」、「垂直格子」、「斜め格子」から選択できます。初期値は「無し」です。
- [色]： 楕円内部の塗りつぶしパターンの色を設定できます。[...] をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示され、独自の色を作成して追加することができます。

4 各項目を設定したら、[OK] をクリックします。

■ [イメージ] 画像を追加する

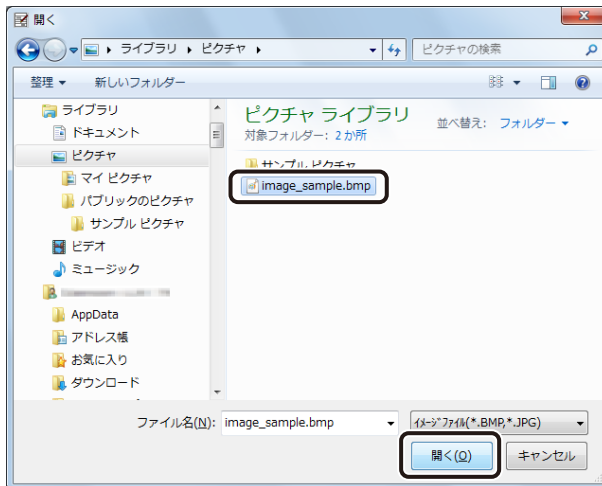
イメージオブジェクトを作成します。

1 ツールバー  (イメージ) をクリックします。

または、[オブジェクト] メニューから [イメージ] をクリックします。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

2 ファイルを選択 (または、[ファイル名] に貼り付けたいイメージファイルの名前を入力) し、[開く] をクリックします。



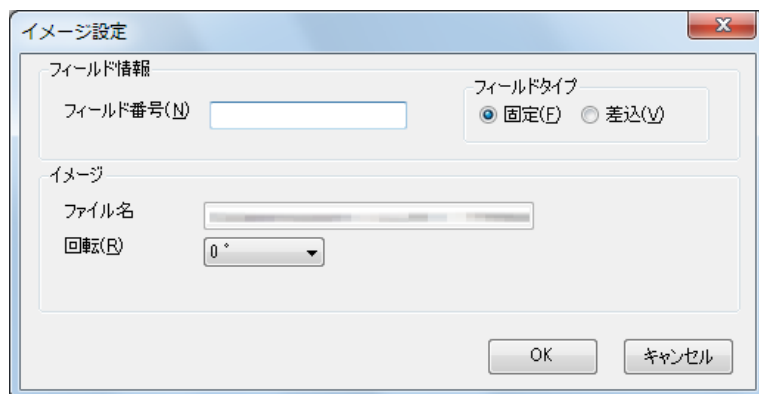
デザインウィンドウのフォーム上に貼り付けたイメージが表示されます。

メモ

- 貼り付けられる画像ファイルは「XXX.BMP」「XXX.JPG」形式のものです。(XXX は任意のファイル名)
上記以外の形式の画像ファイルは貼り付けることができません。
- 貼り付けたイメージオブジェクトのサイズを変更したいときは、イメージオブジェクトをクリックし、画像を囲む枠の点をドラッグして変更したいサイズのところで離します。[SHIFT] キーを押しながらサイズ変更すると、縦横倍率を固定して変更することができます。

3 イメージの回転などを設定したいときは、オブジェクトを選択してダブルクリックします。

[イメージ設定] ダイアログボックスが表示されます。




- [フィールド番号] : フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。
「ラベル発行 for LX-D5500」で使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。
- [フィールドタイプ] : 「ラベル発行 for LX-D5500」で入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。
- [回転] : イメージの回転角度を「0°」「90°」「180°」「270°」から設定します。

4 各項目を設定したあと、[OK] をクリックします。

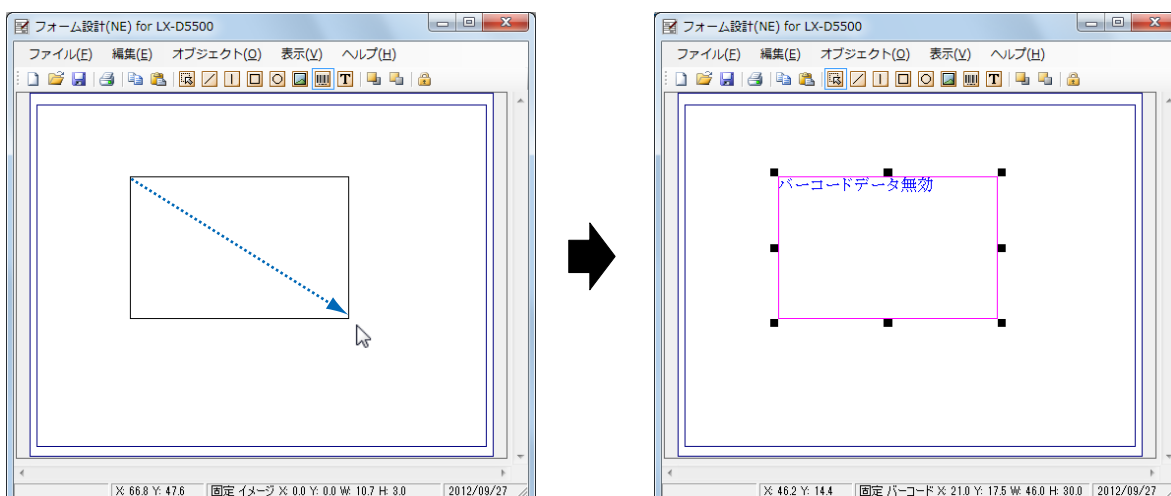
■ [バーコード] バーコードを追加する

バーコードオブジェクトを作成します。

1 ツールバー  (バーコード) をクリックします。

または、[オブジェクト] メニューから [バーコード] をクリックします。

2 デザインウィンドウのフォーム上で、始点としたいところでマウスの左ボタンを押し、そのままドラッグして、終点でボタンを離します。



3 バーコードオブジェクトを選択してダブルクリックします。

[バーコード設定] ダイアログボックスが表示されます。ここでは、バーコードの種類やコード数値などを入力します。



| | |
|-------------------|--|
| [フィールド番号] : | フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。 「ラベル発行 for LX-D5500」で使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。 |
| [フィールドタイプ] : | 「ラベル発行 for LX-D5500」で入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。 |
| [種類] : | バーコードの種類を指定します。バーコードは、「CODABAR(NW-7)」、「CODE39」、「JAN/EAN」、「インターリーブド 2 of 5(ITF)」、「CODE128」から設定できます。 |
| [チェックデジット] : | チェックデジットを有効にするときにチェックマークを入れます。 |
| [チェックデジット非表示] : | 付加文字としてチェックデジットを印刷しない場合にチェックマークを入れます。 |
| [自動付加文字] : | 入力データをバーコードの下に印刷するときにチェックマークを入れます。 |
| [回転] : | バーコードイメージの回転角度を「0°」「90°」「180°」「270°」から設定します。 |
| [配置] : | バーコードオブジェクトの文字の配置方法を選びます。 |
| [ナローバーサイズ(ドット)] : | ナローバーサイズを指定します。 LX-D5500 プリンターをご使用の場合は5ドット以上(印刷品質設定「はやい(600dpi)」)を推奨します。 |
| [上下サイズ(mm)] : | 上下サイズを指定します。 |
| [細太比率] : | 細バー、太バーの比率を選択します。 ※ CODABAR(NW-7)、CODE39、インターリーブド 2 of 5(ITF)のみ |
| [スタートコードセット] : | 「AUTO」「A」「B」「C」からを選択します。 ※ CODE128のみ |
| [フォント名] : | バーコードに付加するフォントを設定します。 |
| [サイズ] : | バーコードに付加する文字のサイズを設定します。 |
| [データ] : | バーコードオブジェクトの文字を半角 50文字まで入力できます。 |

4 各項目を設定したあと、[OK] をクリックします。




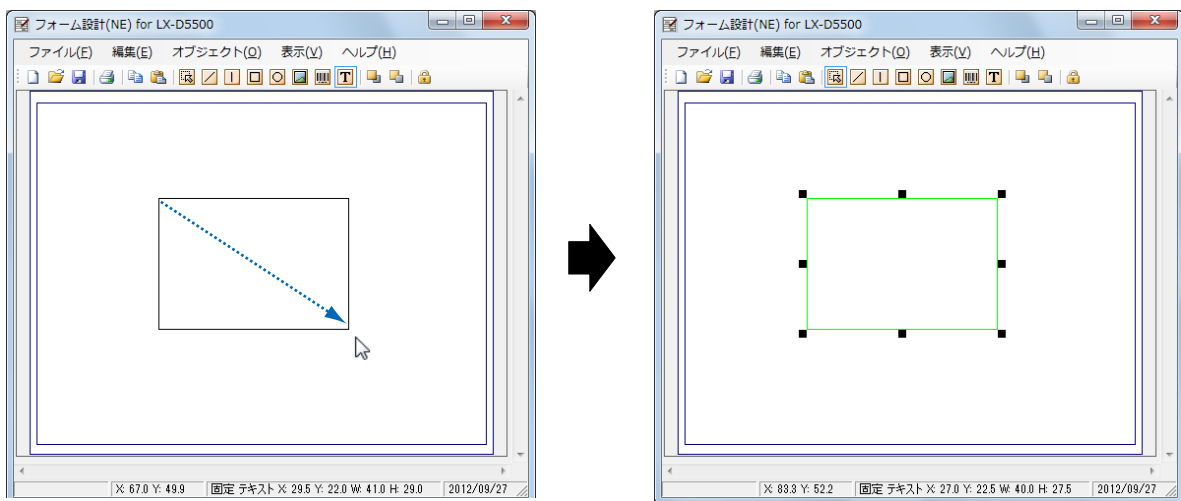
メモ

- バーコードの高さに合わせてオブジェクトサイズを設定し、フィールドタイプを [差込] に設定すると、バーコードの上下サイズが短く印刷されることがあります。
バーコードの高さをオブジェクトの高さ (H) と同じサイズで作成する場合は、バーの高さに付加文字領域の高さ (フォント縦サイズ + 10mm) を足した値をバーコード上下サイズに設定してください。

■ [文字] 文字を追加する

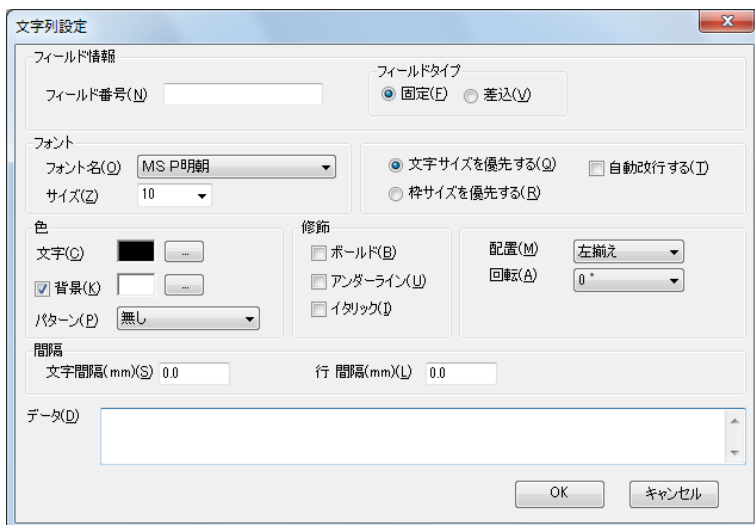
文字オブジェクトを作成します。



- 1 ツールバー  (文字) をクリックします。
または、[オブジェクト] メニューから [文字] をクリックします。
- 2 デザインウィンドウのフォーム上で、始点としたいところでマウスの左ボタンを押し、そのままドラッグして、終点でボタンを離します。



- 3 文字オブジェクトを選択してダブルクリックします。

[文字列設定] ダイアログボックスが表示されます。ここでは、文字列の入力、文字色の指定、フォント、サイズなどを入力します。





| | |
|-------------------------------|---|
| [フィールド番号] : | フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。 「ラベル発行 for LX-D5500」で使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。 |
| [フィールドタイプ] : | 「ラベル発行 for LX-D5500」で入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。 |
| [フォント名] : | 文字オブジェクトのフォントの種類を設定します。 |
| [サイズ] : | 文字オブジェクトの文字サイズを設定します。 |
| [文字サイズを優先する] [枠サイズを優先する] : | [サイズ] で設定した文字サイズを優先して印刷するか、枠サイズを優先して文字列を印刷するかを設定します。 |
| [自動改行する] : | チェックマークを入れると、[データ] に入力した文字が文字オブジェクト枠内に表示できるように自動改行します。 |
| [文字] : | 文字オブジェクトの文字の色を設定します。  をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示され、独自の色を作成して追加することができます。 |
| [背景] : | チェックマークを入れると、文字オブジェクトの背景の色が設定できます。  をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示され、独自の色を作成して追加することができます。 チェックマークが入っていないときは、背景色は透明になります。 |
| [パターン] : | 文字オブジェクト内部の塗りつぶしパターンを「無し」、「塗りつぶし」、「横線」、「縦線」、「斜め線 (右下がり)」、「斜め線 (左下がり)」、「垂直格子」、「斜め格子」から選択できます。初期値は「無し」です。 |
| [ボールド] [アンダーライン] [イタリック] : | 文字オブジェクトのフォントの修飾を設定します。 |
| [配置] : | 文字オブジェクトの文字の配置方法を選びます。 |
| [回転] : | 文字オブジェクトの回転角度を「0°」「90°」「180°」「270°」から設定します。 |
| [文字間隔 (mm)] : | 文字オブジェクトの文字の左右間隔を 0.1mm 単位で設定します。 |
| [行間 (mm)] : | [データ] に入力した文字の行間隔を 0.1mm 単位で設定します。 |
| [データ] : | 文字オブジェクトの文字を全角 500 文字まで入力できます。改行は入力したとおりに反映されます。 |

4 各項目を設定したあと、[OK] をクリックします。



- 文字列オブジェクトのフォントに System フォントを使用すると、フォントサイズが正しく表示されない場合があります。このときは、TrueType Font に設定してください。


■ [ロック] オブジェクトのサイズ変更・移動を禁止する / 禁止解除する

- 1 ツールバー  (選択) をクリックします。
または、[オブジェクト] メニューの [選択] をクリックします。
- 2 ロックしたいオブジェクト (またはロックを解除したいオブジェクト) を選択します。
オブジェクトをクリックします。複数のオブジェクトを選択したいときは、[CTRL] キーを押しながらクリックします。
- 3 ツールバー  (ロック) をクリックします。
または、[オブジェクト] メニューから [ロック] をクリックします。ロック状態になるとロックの横にチェックマークが付き、ロックが解除されるとチェックマークが消えます。
選択したすべてのオブジェクトがロック状態 (またはロックを解除された状態) になります。
ロックするとサイズ変更や移動ができなくなりますが、オブジェクトの色やフォントなどは設定ダイアログボックスを開いて変更できます。

■ [全てのロックを解除] 全てのロックを解除する

- 1 [オブジェクト] メニューから [全てのロックを解除] をクリックします。
選択していないオブジェクトも含め、ロック状態のオブジェクト全てのロックが解除されます。

■ [削除] オブジェクトを削除する

- 1 ツールバー  (削除) をクリックします。
または、[オブジェクト] メニューの [削除] をクリックします。
- 2 削除したいオブジェクトをクリックします。
複数のオブジェクトを選択したいときは、[CTRL] キーを押しながらクリックします。
- 3 [オブジェクト] メニューから [削除] をクリックします。
選択したオブジェクトが削除されます。

[表示] メニュー

[表示] メニューの機能について説明します。

■ [ツールバー] ツールバーを表示する／非表示にする

1 [表示] メニューから [ツールバー] をクリックします。

画面上のツールバーの表示 / 非表示が切り替わります。

■ [ステータスバー] ステータスバーを表示する／非表示にする

1 [表示] メニューから [ステータスバー] をクリックします。

画面上のステータスバーの表示 / 非表示が切り替わります。

■ [全体] [拡大] イメージを全体表示する／拡大表示する

1 [表示] メニューから [全体] (または [拡大]) をクリックします。

デザインウィンドウのフォーム上に、全体イメージ (または拡大イメージ) が表示されます。

デザインウィンドウ上でマウスを右クリックすると、イメージの全体表示と拡大表示が切り替わります。



メモ

- 全体表示では、オブジェクトの表示サイズと実際の印刷と異なる場合があります。最終のレイアウトは、拡大表示で確認してください。

■ [グリッド表示] グリッドを表示する／非表示にする

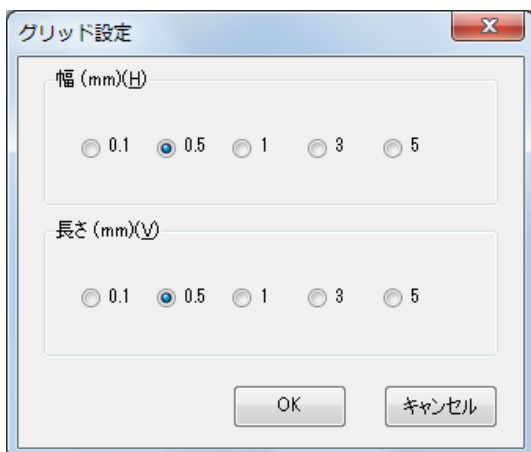
- 1 [表示] メニューから [グリッド表示] をクリックします。
デザインウィンドウにグリッドが表示 / 非表示されます。

■ [グリッドに位置合わせする] オブジェクトをグリッド位置に合わせて配置する

- 1 [表示] メニューから [グリッドに位置合わせする] をクリックします。
オブジェクトを追加したときや移動するとき、グリッド単位で位置が調整されます。
またサイズも、グリッド単位に変更できます。

■ [グリッド設定] グリッド単位を設定する

- 1 [表示] メニューから [グリッド設定] をクリックします。
[グリッド設定] ダイアログボックスが表示されます。



[幅 (mm)] : 縦方向のグリッドの間隔を選択します。初期値は 0.5mm です。

[長さ (mm)] : 横方向のグリッドの間隔を選択します。初期値は 0.5mm です。

- 2 [OK] をクリックします。

[ヘルプ] メニュー

[ヘルプ] メニューの機能について説明します。

■ [目次] オンラインヘルプを表示する

- 1 [ヘルプ] メニューから [目次] をクリックします。
オンラインヘルプの目次が表示されます。

■ [トピックの検索] オンラインヘルプのトピック検索を表示する

- 1 [ヘルプ] メニューから [トピックの検索] をクリックします。
- 2 キーワードを入力し、[表示] をクリックします。

■ [フォーム設計 (NE) バージョン情報] 本ソフトウェアのバージョンを調べる

- 1 [ヘルプ] メニューから [フォーム設計 (NE) バージョン情報] をクリックします。
本ソフトウェアのバージョンが表示されます。

付録

<予約フィールド一覧>

1. コンビラベル、マスターラベル、ハウ斯拉ベル

| 番号 | オブジェクト | 名称 |
|-----|--------|---|
| 020 | イメージ | 航空会社ロゴ |
| 021 | 矩形 | 仕向地背景 |
| 022 | 文字 | Airline Code + Air Waybill No. + "0" + 個数 |
| 023 | 文字 | Airline Code + Air Waybill No. |
| 024 | 文字 | Destination |
| 025 | 文字 | Total No. of Pieces |
| 026 | バーコード | Airline Code + Air Waybill No. + "0" + 個数 |
| 030 | 文字 | House Name + House Waybill No. |
| 031 | 文字 | 仕向地 (8 桁の場合は半角) |
| 032 | 文字 | HWB 個数 |
| 033 | 文字 | 分割搬入個数 |
| 034 | 文字 | 付加情報 |
| 035 | バーコード | バーコード 1 (指定による) |
| 036 | 文字 | バーコード 1 付加文字 |
| 037 | バーコード | バーコード 2 (指定による) |
| 038 | 文字 | バーコード 2 付加文字 |

2. ケースマークラベル

| 番号 | オブジェクト | 名称 |
|-----|--------|---------|
| 001 | 文字 | テキスト 1 |
| 002 | 文字 | テキスト 2 |
| 003 | 文字 | テキスト 3 |
| 004 | 文字 | テキスト 4 |
| 005 | 文字 | テキスト 5 |
| 006 | 文字 | テキスト 6 |
| 007 | 文字 | テキスト 7 |
| 008 | 文字 | テキスト 8 |
| 009 | 文字 | テキスト 9 |
| 010 | 文字 | テキスト 10 |
| 011 | 文字 | テキスト 11 |
| 012 | 文字 | テキスト 12 |
| 013 | 文字 | テキスト 13 |
| 014 | 文字 | テキスト 14 |
| 015 | 文字 | テキスト 15 |